



おおきなかぶ ～〇〇をよんできて！～

茨木市立葦原小学校

教科	体育	単元名	おおきなかぶ ～〇〇をよんできて！～
----	----	-----	--------------------

本単元で育む主な情報活用能力

**B-STEP 1, D-STEP 1
F-STEP 1, H-STEP 1**

該当番号の詳細内容は「大阪府情報活用能力ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力（ステップシートの項目）

- （教科等でつきたい力）
- 身近な題材の特徴を捉え、全身で踊る。
 - 身近な題材の特徴を捉えて簡単な踊り方を工夫するとともに、考えたことを友だちに伝える。（学校図書館等の活用でつきたい力）
 - 動物の図鑑を読んで、動物になりきった動き方について想像を広げる。
 - 絵本の世界に入り込み、その世界観を楽しむ。

単元における学習の展開（全2時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> 図鑑を読みながら、いろいろな動物になりきって踊る。(☆) (本時) 図鑑を読みながら、動物の特徴を捉えた動き方を想像し、「おおきなかぶ」のお話をもとに表現する。(☆)
--------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

本時のねらい

- 身近な題材の特徴を捉えて踊り方を工夫して踊り、考えたことを友だちに伝える。
- 絵本の世界に入り込み、その世界観を楽しみながら遊ぶ。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (5分)	1. 前時の学習をふりかえる。 ・いろいろな動物になりきった動きをふりかえる。	・図鑑を見せながら、動きをふりかえり、写真や文章と動きをつなげるよう声かけをする。
展開 (35分)	2. 「おおきなかぶ」のお話をもとにした表現遊びをする。 ・「おおきなかぶ」の話の思い起こし、動物を呼びに行き、かぶを抜くシーンを表現することを確かめる。 ・グループで動物図鑑を読みながら、踊り方の工夫を考える。 ① 選んだ動物とその動き方 ② かぶが抜けたときの喜んでる動きの工夫 ・グループの中でペアを作り、考えた表現を発表する。 ・ペアの動きで良かったところやアドバイスを伝え合う。 ・アドバイスをもち、もう一度表現の工夫を考える。 ・グループごとに、表現発表会をする。	・本時までに「おおきなかぶ」を読み聞かせるなど読む機会をつくっておく。 ・動物の図鑑を読みながら、写真や文章とともに想像を膨らませられるように声をかける。 ・「跳ぶ」「回る」「ねじる」「這う」「素早く走る」などの動きのレポーターを掲示する。 ・「動きの大きさ」に着目して感想を伝え合うように声をかける。
まとめ (5分)	3. 本時の学習をふりかえる。 ・表現遊びに取り組んで、できたことや感じたことをふりかえる。	・表現遊びの楽しさや友だちとのコミュニケーションについてふりかえることができるようにする。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

1学期に国語科で学習した「おおきなかぶ」を題材に選び、世界観に入り込み想像を広げやすくなるよう工夫した。動物の図鑑を活用することで、自身の生活経験だけでなく、図書資料からも想像を広げることができた。また、図書資料を活用する利点として、写真や文章から読み取ったことを根拠にして表現の工夫をすることができた。

子どもたちは絵本を世界観の題材にしたことで、表現遊びの表す話の流れをイメージできた。かぶが抜けて喜ぶ様子を「飛び跳ねる」「象の鼻をぐるぐる回す」「ライオンが大声で叫ぶ」など特徴を捉えながら表現していた。ペアで見せ合い、感想を伝え合うことで自分たちでは気づくことができなかったポイントを次の練習タイムで意識しながら工夫し、発表会への準備を進めていた。

本単元では、絵本を使って世界観を共有していたが、来年の表現遊びでは今回の経験を生かして、自分たちで話の世界観も考え工夫し、友だちと表現する楽しさを味わえるようにしていく。



動物の図鑑を見ながら、表現遊びのテーマや動きを相談している様子。